



コツコツ とことん

大仙市立太田中学校
令和3年11月17日
NO. 89



うららかに たくましく ～耕し 萌えたち みのらせ さきみだる～



長年の活動が評価されて

本校は、長年緑化活動に取り組んできました。その功績が評価されて「広域財団法人国土緑化推進機構理事長感謝状」「東北・北海道地区緑化推進協議会会長表彰」を受賞し、団体関係者の方から表彰状と記念品をいただきました。受賞の功績概要には次のように書かれています。

緑化の基軸は校内の花壇づくりである。花と緑による美しい学校環境づくりを通じて、命を大切にす心、豊かな情操と勤労の精神を育むことを目的としており、1968(昭43)に始まったこの「花育」は半世紀以上におよぶ(今年で54年目)。

花壇は、前庭と中庭を合わせて730㎡の広さがあり、サルビア、ビクトリア、マリーゴールド、ペゴニアなどおよそ10種類を育てる。花壇のデザインをはじめ、7月から10月までのおよそ4ヶ月間に及ぶ管理作業(水やり、花摘みなど)は、美化委員や全校勤労体験学習など生徒全員が力を合わせて行う。校訓にある「継続(こつこつ)と徹底(とことん)」の実践がここに貫かれている。

見事に管理された花壇は、同校の歴史に多数の

「光彩」をちりばめてきた。直近10年間を例にとると、秋田県学校関係緑化コンクールでは9回の上位入賞(うち1回は県代表)、秋田県花だんコンクールにおいては特別優秀賞もしくはモデル花壇指定のいずれかを受賞している。このほか、太田花壇フェアなどのイベントにも積極的に参加し、地域の活性化にも大きく貢献してきた。

特筆すべきは岩手県大槌町立大槌学園との交流である。東日本大震災で被災した同校への支援として、みんなで育てた花のプランターおよそ250個を、震災のあった2011年から毎年、10年間送り届けている(今年も実施予定)。花が取り持つ「縁」が、今では「支援」から地域を巻き込んだ「交流」へと発展してきている。同校の花づくりは学校や地域内にとどまらず、県を跨いだ他に例を見ない先進的な緑化活動と評価され、その功績は誠に顕著なものがある。

このような受賞の際は、学校が関係団体に応募し、概要を記載することがほとんどですが、これは秋田県緑化推進委員会の方が記載してくださったものです。本校の取組に注目し、熟知してくれていること、過分な概要表現に感謝申し上げます。この概要でもお分かりのように、緑化活動には、今の子どもたちももちろん関わり、がんばっています。多くの先輩から脈々と受け継がれてきた活動への高い評価であり、太田地域全体での受賞と思っています。